防災・減災フォーラム 2007

羽越水害から40年 防災シンポジウム 開催!

～最上川の過去・現在の水害からの教訓を踏まえ、備えについて学ぶ～



当日は会場全体を最上川へといざない、

40年前にタイムスリップしてもらい、
現状を知り今後の水害への備えについて、

参加者766名が熱く学びました。

●基調講演　あの水害を忘れない～平成16年 台風23号の経験から～

兵庫県豊岡市長　中貝 宗治 氏







豊岡市が洪水に見舞われたときの生々しい様子や、そこで得た教訓を踏まえて、数々の貴重な意見を頂きました。

[主な内容（抜粋）]

・自然の脅威は必ずやってくる→逃げる！

・行政にも限界がある

→自分の命は自分で守る気構えを

・人々を困難から救うのは→「希望」

●ミニトークショー

雨について学ぼう！





気象予報士　半井 小絵 氏

◆9月はなぜ台風が多いのか？

◆雨の量はどうやって測るのか？

天気予報で使う用語など、雨に関するおはなしを楽しく解説していただきました。

クイズ形式で、最上川こども交流会に参加した子供達の質問に答える形でミニトークショーを実施。

●パネルディスカッション

〔コーディネーター〕
山形大学人文学部長　阿子島 功 氏

〔パネラー〕
兵庫県豊岡市長　中貝 宗治 氏
気象予報士　半井 小絵 氏
東北地方整備局河川部長　南 哲行 氏











最上川の過去・現在・未来を
テーマに意見交換を行いました。

[主な内容（抜粋）]
・地域や学校で語り継ぐ
・「行政の努力」と「住民の知ろうとする努力」
・水害はいつでも起こりうる
・自然と向き合い逃げず、力を合わせ



フィナーレは、次世代を担うこども達によるメッセージで締めくくりました。

●同時開催イベント

◆屋外会場～参加者242名～

降雨体験



防災展



◆屋内会場

羽越水害パネル展



避難所展

